(様式1) 自己評価票 参考様式

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
Ι.	理念	に基づく運営				
1. I	里念の	共有				
1	1 1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症の高齢者が共同生活を通し、利用者 の有する能力に応じ個々の生き方を尊重し 自立支援する		
2	2 2	理念の共有と日々の取り 組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々 取り組んでいる	毎月職員会議・カンファレンスを実施し、理 念の実践に努めています		
3	3	家族や地域への理念の 浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り 組んでいる	運営推進会議や自治会交流等に努め、家 族や地域に理解を深めていただけるよう取 り組んでいる		
2. ±	也域との	の支えあい				
4	1	隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、 気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができる ように努めている			
5	5 3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭り等にも模擬店等で交流を図る。		今後年間行事を提供し地域の方が 参加できるよう企画実施して行きた い
6		事業所の力を活かした地 域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	住宅地という立地条件を生かし、相談等気軽に出来るように努めています		
3. I	里念を	実践するための制度の理	解と活用			
7	7 4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組 んでいる	毎月の職員会議・カンファレンス・朝会における検討や情報収集に努め改善に努めて います		半年に1回の自己評価の実施をケアの質の向上にしたい
8	5	運営推進会議を活かした 取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への 取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの 意見をサービス向上に活かしている	地域住民や家族等の調整を図り状況報告 や参加者全員の意見・要望等前向きに取り 入れる		
ę	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を実施し、情報提供やサービスの向上に努めています	0	定期的に運営推進会議を開催し情報提供や行政との連携・地域交流等のサービスの向上に活用していきたい

自己		項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
10		権利擁護に関する制度の 理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	活用するために包括支援センター等連携を図る		
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	県の研修参加や会議等で情報交換の場を 設け虐待防止に取り組む	0	今後も研修等参加に積極的に取り 組で行きたい
4. 理;	念を記	実践するための体制				
12			疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に面接を実施し、契約時は、契約書・ 重要事項の説明を十分に行い理解と納得を 得ている		
13		運営に関する利用者意見 の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部 者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	随時相談・苦情に対応している		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせ た報告をしている	定期的に利用者の状態を電話で報告し面 会時等に同意を得ている	0	今後は、通信等発行も考えている
15	8	運営に関する家族等意見 の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部 者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情は、随時対応している		
16		運営に関する職員意見の 反映		カンファレンス・ケア会議等で意見の反映に 努めている		
17		柔軟な対応に向けた勤務 調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができる よう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤 務の調整に努めている	バックアップ可能な限り勤務体制をとっている る		
18	9	職員の異動等による影響 への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を 受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力 をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をして いる	職員に勤務希望を聞き異動・離職等十分配 慮し引き継ぎ等に努めている		
5. 人	材の	育成と支援			•	
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための 計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働き ながらトレーニングしていくことを進めている	研修・職員会議等資料を提供し、勉強会も 儲け質の向上に努める	0	外部内部の両面の研修を積極的に機会を設けたい
20		同業者との交流を通じた 向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域等の協議会への参加している	0	今後、他事業所等と連携を図り拡大 を図りたい

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
21		職員のストレス軽減に向 けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫 や環境づくりに取り組んでいる	毎月職員会議の前に弁当を用意しコミニ ケーションを図り外食をする機械も設ける		
22			運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を 把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修等へ職員が参加し意識の向上に努める		開設10ヶ月であり、意欲向上となる よう環境を整えていきたい
		と信頼に向けた関係				
1. 柞	談か	ら利用に至るまでの関係				
23		初期に築く本人との信頼		面接・見学等を必ず実施し、本人の状況把握に努め、試泊も利用することが出来るようになっている		
24		初期に築く家族との信頼	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安 なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる 努力をしている			
25			相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	12	馴染みながらのサービス		利用者の状況によって試泊等利用していた だき利用を納得した上で利用開始となるよう に配慮している		
2. 新	たな	関係づくりとこれまでの関				
27	13	本人と共に過ごし支えあう	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう 関係を築いている	本人の意欲向上へ配慮し、生活の活力を持てるよう本人の役割を明確にし、使命感を感じ取れるよう支援している		
28		本人を共に支えあう関係	喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている			
29		本人と家族のよりよい関 係に向けた支援		面会時や定期的に報告を電話等で行ったり 行事等連絡や一緒に参加できるように配慮 している		
30		馴染みの人や場との関係 継続の支援	係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出等をご家族に連絡したり協力を お願いしたり本人とご家族のより良い関係 作りに努めている		
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用 者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が環境の設定をし利用者の性格等を 把握し機会を常時配慮に努めている		

項目番	号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己 外評価 評	部平価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
32		関係を断ち切らない取り 組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要 とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを 大切にしている			
			たけるためのケアマネジメント			
1. 一人	くひく	とりの把握			1	
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向や話をよく検討しより良い方向 へと検討している		
34		これまでの暮らしの把握	までのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時に情報把握し、本人の意向に沿って ご家族の協力の下実施している		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現 状を総合的に把握するように努めている	申し送り・個人記録等を活用し現状を総合 的に把握している		
2. 本人	くが。	より良く暮らし続けるため	の介護計画の作成と見直し			
36	15	チームでつくる利用者本 位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、 本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見や アイディアを反映した介護計画を作成している			
37	16	現状に即した介護計画の 見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	行し必要時は、関係者より情報収集し本人		
38		個別の記録と実践への反 映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録 に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	個人記録・食事・排泄・検温・血圧・体重記 録等と申し送りノートの活用で日々の情報を 捕らえ実践に努めている		
3. 多榜	钱能'	性を活かした柔軟な支援			•	
39	17	事業所の多機能性を活か した支援		共有スペースを活用して行事等を実施し季 節感や楽しみを増やすよう努めている		
4. 本人	しが。	より良く暮らし続けるため				
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の開催や地域住民の行事等 に参加に努めている	0	今後は、通信等発行も考えている
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するた めの支援をしている			

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	
42		地域包括支援センターと の協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センター と協働している	現在は、していない	0	制度等の説明を話し合える機会をと考えている
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している			
44		認知症の専門医等の受診 支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が 相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けら れるよう支援している	必要時は、受診にてアドバイスを受けている		
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に 相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしてい る			
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	院時にはご家族と一緒に説明を受け今後の 対応を理解するようにしている		
47	19	重度化や終末期に向けた 方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返 し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は、契約時 に説明している		
48		重度化や終末期に向けた チームでの支援		かかりつけ医と利用者の家族と話し合いが 出来ている利用者もある。		
49				本人・家族・介護支援専門員・行政等と事業 所間で十分な話し合いと納得の本人の状況 が良い方向にと努めている		
			たけるための日々の支援			
		<u>らしい暮らしの支援</u> とりの尊重				
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけ や対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の同意書を実施し、保管は所定場 所とし必要以外は、持ち出さないことを徹底 している		
51		利用者の希望の表出や自 己決定の支援		利用者の訴えや希望は、聞いて実際サービス計画に反映できるよう本人・ご家族への 説明・同意のもと行っている		

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとり のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希 望にそって支援している	本人の状況を重視し尊重し、安心とゆとりが出る生活空間の提供に努めている		
(2)	その人	らしい暮らしを続けるため	の基本的な生活の支援		I.	
53		身だしなみやおしゃれの 支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるるように支援 し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の望むように家族の協力で店に行く方 等個々に希望にそって行っている		
54	22	食事を楽しむことのできる 支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を 活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付け をしている	献立にそって利用者が調理をしたり、盛り付け・後かた付け等を行って家庭的な雰囲気でのなか食卓を楽しんでいる		
55		本人の嗜好の支援	を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している			
56		気持よい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している			
57	23	入浴を楽しむことができる 支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひと りの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支 援している	利用者の希望を聞いて入浴日を決めて一 日置き等・状況に応じては、入れるように なっている		
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心し て気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の生活リズムを整え、本人のペースで 就寝できるように努めている		
$(3)^{2}$	その人	らしい暮らしを続けるため	の社会的な生活の支援		•	
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援		毎日の生活で仕事jを分担し利用者が活躍する場を提供し、誕生日や季節を味わう行事を実施し生活意欲を持つよう支援している。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している			定期的に買い物外出できるように計 画をして行きたい
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望 にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状態に合わせて実施している		
62		普段行けない場所への外 出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別 あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつ くり、支援している	行事等季節ごとに計画をして実施している		開設10ヶ月であり年間行事計画書 を作成を今後して行きたい

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組ん) でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が携帯電話にて話されたり、手紙等を出されている利用者もおり、利用者の希望に努めている。困難な場合は、職員が変わって行っている		
64		家族や馴染みの人の訪問 支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも 気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時は、居室や共同スペースを利用して もらい、外出・外泊等は、随時受付ている。		
(4)	安心と	安全を支える支援			•	
65		身体拘束をしないケアの 実践		身体拘束等のマニュアル等を使用し、理解 し基本に則って支援に努めている		
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかける ことの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んで			
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利 用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の見守りや環境整備で安全に過ごしていただくように環境支援に努めている		
68		注意の必要な物品の保 管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの 状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所は、一定の場所に決めてあり、管 理者と当日の責任者が確認保管する		
69		事故防止のための取り組 み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を 学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでい る	カンファレンス等で検討したり、ヒヤリハット・ 事故報告書を設け利用し事故防止に努めて いる		
70	1	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手 当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応は、緊急連絡網に副って対応 をするように徹底されている		個別情報・参考資料・マニュアル等 を作成し、ヒヤリハット・事故報告書 は活用している
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が 避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力 を得られるよう働きかけている			年間に最低1回以上の災害訓練や 消防訓練を利用者をまじえて今後、 行うことを計画している
72		リスク対応に関する家族 等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑 圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	契約時ご家族に説明しています		
(5)	その人	らしい暮らしを続けるため				
73		体調変化の早期発見と対 応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の申し送りの実施や随時連携をとり早 期発見に努めています		

項目	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	取り組んでいきたい内容
自己評価	外部 評価	タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている			
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応の ための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組 んでいる	毎日排便状況を申し送り利用者に応じて排 便コントロールをしている		
76		口腔内の清潔保持	ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとり の口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施し、観察を十分 行っている		
77	28	栄養摂取や水分確保の支 援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
78	3	感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)			
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具 等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に 努めている			
		らしい暮らしを支える生活 !のよい環境づくり	環境づくり			
80		安心して出入りできる玄関 まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心し て出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしてい る	安心して出入りが出来るようになっている		
81	29	居心地のよい共用空間づ くり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、 生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような 工夫をしている	食卓とリビングを居心地よく環境を整え、利 用者がくつろぎやすいようになっており、掲 示物等利用者の作品が飾られるようになっ ている		
82		共用空間における一人ひ とりの居場所づくり		共同スペースがソファが多めに置かれ談話 しやすいように工夫している		
83	30	居心地よく過ごせる居室 の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に居室は、利用者の住み慣れた環境を作り出せるようになっており、利用者の希望で持ち込みは、自由となっている		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温 度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の 状況に応じてこまめに行っている	利用者の居室・共同スペースには、24時間 換気と空調設備設置されており随時実施し ます		

項目:	番号	項目		取り組みの事実	〇印 (取り組ん	
自己評価		タイトル	小項目	(実施している内容・実施していない内容)	でいきた い項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
(2)本	ス人の)力の発揮と安全を支える	5環境づくり			
85		身体機能を活かした安全 な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつで きるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は、フラットとなり手すり等十分に設置してあるため安全なようになっている		
86		わかる力を活かした環境 づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自 立して暮らせるように工夫している	生活の中で問題点を考え、カンファレンス等で検討し、自立支援に努めている		
87			建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	住宅地の中でベランダ側が緑道で地域住民 の方が散歩したり子供たちが遊ぶ姿や声が 聞こえ近くには、公園があり利用者が散歩 を楽しむことが出来る		今後、菜園等が出来ればと考えている

項目	番号	項目	取り組みの成果
自己評価		タイトル	(該当する箇所を〇印で囲むこと)
		-ビスの成果に関する項目	
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者がころへ出かけている ②利用者の2/3くらいが ○③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94		利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して 暮らせている	③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いて おり、信頼関係ができている	③家族の1/3くらいと ④ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来て いる	○①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目	番号	項目	取り組みの成果
自己評価	外部 評価	タイトル	(該当する箇所を〇印で囲むこと)
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡 がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている 〇②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98		職員は、活き活きと働けている	○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると 思う	○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない